

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーの心で
友情を深めよう

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

勇気と希望をもって、
煌めくロータリーを



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

国際ロータリー会長 **ゴードンR. マッキナリー**

第2560地区ガバナー **米山 忠俊**

高田ロータリークラブ会長 **山田 守**

幹事 **吉田 巧**

広報・会報・雑誌委員会：

細野仁・山本 陽・大島 誠・林 泰成

第9回例会 9月15日(金)

No.9

会長挨拶 ●山田 守



先週は WC バスケットの話をして頂きました。8日から WC ラグビーが始まりました。WCの賞金がいくら位になるかご存知でしょうか。バスケの総額は約22億で優勝賞金は4億だそうです。サッカーは総額600億、優勝賞金59億です。それではラグビーはどうでしょうか。ゼロです。ラグビーの場合「紳士のスポーツ」であり、大会に出場する事が最大の榮譽と考えられているようです。

ラグビーの試合をTVで見ていると、ルールが面倒だなと思いました。例えば4トライ以上でボーナスポイントが1点、僅差7点以内では負けたチームに1点加算。イエローカードの際には10分間の出場停止で、その間にビデオ判定する等です。また、解説を聞いていてもわからないものがあります。

分かりやすいルールをご紹介します。「バスケットボールはボールを蹴ってはいけない、蹴りたければサッカーをやれ。」

「レスリングでは殴ってはいけない、殴りたければボクシングをやれ。」というものです。



出席報告

出席率 95.56%

委員会報告

国際奉仕委員会：
8/20 国際奉仕フォーラムデ
ィスカッション参加報告
(スリランカアイバンク協会支援)



親睦委員会：
10/6 お月見の会のご案内



高田さくらロータリー衛星クラブ：
10/3 衛星クラブゴルフコンペ
のご案内



幹事報告

配布物：週報No.8、9/29 さかきん発酵鍋と味噌フェ
スタチラシ

報告：9/22 祝日振替休会日、9/23 夏季セミナー
について、9/29 ガバナー補佐事前訪問例会
及びクラブ協議会について



全日本スキー連盟 スキークロス強化指定

2022年北京五輪日本代表 古野 慧様

まさに一瞬で終わってしまった初の舞台は、あまりにも呆気なく、悔しすぎる結果となりました。しかしながら、このわずか一瞬でも、夢の舞台に立てた事を誇りに思いますし、この舞台に立つために本当に多くの方に支えられてきたんだと大会期間中改めて実感しました。

多くの応援メッセージを頂き、パワーを貰いましたし、なにより“感動した”と言ってもらえた事は本当にスキークロスをやっている、オリン

ピックに出れて一番良かったなと思えた出来事でした。

自分の頑張りで、滑りで、感動を与えられるという事は本当に価値のある事だと再認識し、今後はより多くの人に感動与えられる選手に成長しなければならないと強く感じたオリンピックとなりました。

オリンピックから今日までの2年間で、競技の普及活動や社会貢献活動に積極的に取り組みました。競技者としてだけでなく、社会に対しても貢献できることを実行しています。具体的には、母校での講演会を行ったり、若手選手へのトレーニング指導を行ったり、スキークロスの練習施設を整備したりと、多岐にわたる活動に取り組んでいます。

さらに、私自身の後援会も作っていただき、会員の皆様からのご支援をもとにより充実した活動を行えるようになりました。2026年のミラノ五輪では、皆さんの応援と共に夢を追求し、その姿を多くの人々に感動として届けたいと考えています。私と共に戦ってくださる方がいらっしゃいましたら後援会へご参加頂けますと嬉しいです。

